

第4期第3回福祉のまちづくり推進協議会 議事録

- 1 日時 平成24年7月2日(月) 10:00~11:30
- 2 場所 プリムローズ有朋
- 3 出席者(敬称略・五十音順)
  - 青柳 淳 公募委員
  - 榎本 一雄 さいたま市私立保育園協会 副会長
  - 大森 郁雄 東日本旅客鉄道株式会社大宮支社企画室 室長(代理出席)
  - 川津 雅弘 さいたま市聴覚障害者協会 顧問
  - 川本 明 さいたま市教育委員会管理部長
  - 木村 通恵 公募委員
  - 黒田 智樹 さいたま市建設局土木部 部長
  - 小暮 武志 さいたま市都市局都市計画部 部長
  - 寒河江 千一 さいたま市建設局建築部 部長
  - 佐々木 みつる 公募委員
  - 高橋 儀平 東洋大学ライフデザイン学部 教授
  - 田口 秀之助 さいたま市身体障害者福祉協会 会長
  - 辻 保人 国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所 所長(代理出席)
  - 鶴岡 洋 社団法人埼玉県バス協会 専務理事
  - 浜田 晋一 東武鉄道株式会社鉄道事業本部施設部建築土木課 課長
  - 星野 美子 さいたま市手をつなぐ育成会 理事
  - 細野 廣吉 さいたま市商工会議所 総務・会員サービス部 部長
  - 三浦 匡史 特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま 理事
  - 峯 逸男 埼玉県警察本部交通部交通規制課 課長(代理出席)
  - 森田 かよ子 埼玉県障害者協議会 代表理事(代理出席)
  - 山本 信二 さいたま市保健福祉局福祉部 部長

4 次第

- 1 開会
- 2 新委員の紹介
- 3 議事及び報告
  - (1) モデル地区推進部会の報告について 資料1~資料2
  - (2) バリアフリー専門部会の報告について 資料2
- 4 その他
- 5 連絡事項
- 6 閉会

内容

- 1 開会
- 2 新委員の紹介
- 3 議事及び報告
  - (3) モデル地区推進部会の報告について 資料1~資料2

事務局 資料1-1、1-2、1-3、1-4、2について説明(省略)

会長 ただ今の説明に関して、三浦部会長から補足等ありますか。

- 三浦委員 昨年度は3月の震災の影響もあり、大変タイトな学校カリキュラムなか、学校の先生方に協力していただき活動を行いました。
- また、2月にフォーラムを開催し、今までの活動に一区切りつけることができましたと思います。フォーラムのアンケートのなかでも、モデル地区部会活動を知らなかったとの回答が多く、今後更なる周知を図ってまいりたいと思っています。
- 今年度は、モデル地区活動始まって以来、初めて中学校と連携し活動していきます。中学校での実施経験が無いため、方法等を模索しているところですが、9月にモデル地区部会を開催し、準備を進めていくところです。
- 会長 ありがとうございます。これまで、さまざまな小学校で活動を行っていると思いますが、昨年度の下落合小学校での取り組みと、それ以前の桜木小学校等との取り組みにおける違いはありましたか。
- 三浦委員 下落合小学校は、さいたま新都心駅に近く、すでにバリアフリー化が進んでいる地区だったため、バリアフリーにするうえでの工夫など、より専門的な視点で、まち歩き学習を行うことができました。
- また、まち歩き学習のグループ内の障がい者に対して、積極的にコミュニケーションをとっており、児童達は大変勉強になったと思います。
- 青柳委員 視覚障がい者と一緒にまち歩きをしましたが、小学校の周りにガードレールの役目を果たしていない箇所があり、視覚障がい者の場合、側溝に落ちてしまいそうに危険に感じました。
- また、健常者にとっても夜の暗い中では、側溝に気づかず、危険だと感じました。障がい者とまち歩きをしたなかで、健常者にとっても危険な箇所を発見することができました。
- 道路環境課 下落合小学校の周辺については、調査し対応します。
- 会長 他に気づいた点等ありますか。
- 森田委員 子どもの気づき、子どもの発想について、大人が学ぶことができたことなど（代理）がありましたら教えていただきたいと思います。
- 三浦委員 下落合小学校に限らず、これまで実施してきたまち歩き学習には、保護者に毎年参加していただいています。子どもの純粋な気づきによって、親が気づくことが今までも多々ありました。例えば、路上に駐車してある自転車を見て、親と子どもが障がい者にとって放置自転車の危険性を改めて考えるきっかけになっていると思います。子どもの目線を通して、福祉のまちづくりについて大人として分かっているつもりの事に関しても再確認に繋がっています。
- 木村委員 下落合小学校では、体験授業の際に、妊婦の疑似体験を行いました。その体験をした児童が親に生んでくれたことに対して感謝をしてくれたと、まち歩きの際に保護者から聞きました。こういった取り組みによって感謝が広がっていくことを実感しました。
- また、私は、高齢者という立場でまち歩き学習に参加しましたが、児童に話を聞いていると、核家族が多く、普段祖父祖母との関わりが少ないことが分かりました。そのため、今回、子ども達にとっては良い経験になったと思います。今後も、この取り組みを続けていただきたいと思います。
- 佐々木委員 私も高齢者として、生徒のグループに混じって、まち歩きに参加しました。児童達は、1つのグループのみに所属していたので、他の障がいなども経験できればよりよいものになるかと思いました。
- フォーラムについては、高橋先生の講演等、非常にすばらしく勉強させていただきました。アンケートを見るとモデル地区活動のことを知らない人が多かった。今後、モデル地区活動への参加を促すよう、周知啓発に努めていただ

きたいと思います。

事務局 グループ分けについては、児童の人数等の関係で、1グループに講師1名の体制となってしまいましたが、今年度については、検討します。

社会福祉事業団 先ほどの委員からのご指摘ですが、場所や時間に制約がありますので、まち歩き当日は1グループ講師1名の体制となってしまいましたが、10月26日に児童とさまざまな障がい者等とのふれあいを行っています。その際は、全員がさまざまな方と話をしたり質問ができ、障がい者について子ども達が困っていると思っていたことが、実は当事者にとっては問題ないことであったりといろいろな発見ができた時間だったと思います。

今回は中学生となりますが、まち歩きと、ふれあいの両方が、充実できればよりよい活動となると思います。

川津委員 福祉のまちづくり学習を行うにあたって、児童が1年間の目標や目的を設定し、活動を行い、それに伴って、今後の課題等を発見し、最終的に評価することができれば、よりよい活動になるのではないかと思います。

会長 大変参考になると思います。ただいまございました意見等については、事務局にて検討をお願いします。

それでは議事を進めます。

## (2) バリアフリー専門部会の報告について

事務局 資料3について説明(省略)

会長 ありがとうございました。確認ですが、平成23年度の見直しの際は、既存の重点整備地区に追加はなく、100%を目指して取り組みをしていくということによろしいでしょうか。

事務局 旧法上の既存の整備地区については、新たに建築物、路外駐車場等の特定事業は定めなくて、旧3事業といわれております、交通安全、道路環境、公共交通について、100%を目指していくところです。そのなかでも、道路の基準については、歩道が2メートルなく、1.5メートルであったとしても、車いすの通り抜けが可能な経路については生活関連経路に定めていかないといかないため、2路線の追加をしました。しかし、他の箇所については、既存のもので100%を目指していきます。新たな、重点整備地区については、新法の対応の基本構想として定めていきます。

会長 わかりました。しかし、見直しを図るのであれば、すでに新法に変わっていますので、生活関連経路に限らず、既存の整備地区に含まれる建築物等も含めて考えていくべきではないでしょうか。

事務局 既存の重点整備地区についても、それぞれ施設が目的施設という形で入っています。基本構想の中では、特定経路としては設けませんが、公共施設につきましては福まち条例の中でも、基準適合の努力義務がありますので、それに準じるようしております。

会長 さいたま市の福まち条例や埼玉県のパリアフリー条例もありますので、そのあたりの位置づけを市民に分かるようにしておいたほうがいいと思います。新たに3地区の重点整備地区を選定することは大変だと思いますが、計画のなかでは、既存のものについても、しっかり取り組んでいく必要があると思います。

田口委員 新規重点整備地区の検討にあたり、まち歩きを行う予定があると思いますが、障がい者団体からの出席者の数に制限があります。障がいにもいろいろな種類

がありますので、なるべく多くの参加をしたいと考えているのですがいかがでしょうか。

事務局 まち歩きの際に人数が多すぎても、事故等に繋がる可能性があるため、出席人数に制限を設けさせていただきました。人数等については、後ほど個別にご相談させていただければ対応いたします。

会長 障がいについてもさまざまな種類がありますので、事務局としても丁寧に対応していただきたいと思います。

田口委員 今年度のモデル地区部会のまち歩き学習は中学校と連携して行うということですが、方法は今までの小学校と同様ですか。

事務局 中学校は小学校よりも授業等が忙しく方法については、モデル地区部会にて、検討いたしまして、よりよい方法を模索していきたいと考えています。

田口委員 小学生に車いすを押していただいて、大変ありがたかったのですが、少し怖いときがありました。その点、中学生は力もあり、問題ないと考えています。

また、先日、駅で切符券売機を操作していた際、杖を落としてしまいました。すると小学生が、近寄ってきて杖を拾ってくれました。最近はこういったことが多くあり、ソフト面における福祉のまちづくりの活動が広がっていることを実感しました。

会長 他には、ありますでしょうか。

ないようですので、以上で締め切らせていただきます。

- 4 その他
- 5 連絡事項
- 6 閉会

以上